

令和5年度(2023年度)学校教育目標

学ぶ喜び、つながる喜び、働く喜びを実感できるチーム伊倉の仲間づくり

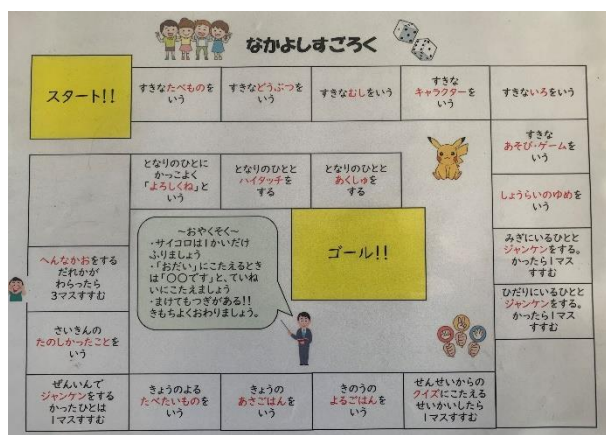


玉名市立伊倉小学校だより 第20号

発行 校長 福田 賢一

「すごろく」で自立活動

— 1月19日発行たんぽぽ学級通信から



たんぽぽ学級担任は本校の特別支援教育コーディネーターを務めています。その役割は特別な教育的支援を必要とする幼児児童生徒の保護者や関係機関と連絡調整を図り、適切な指導及び必要な支援に結びつけるとともに、学校における特別支援教育を推進することです。

このことを踏まえ、特別支援教育に有効な自作ICT教材を本校ホームページに掲載してもらっています。

今回の通信では、児童の実態に合わせてオリジナルでつくる「すごろく」が児童に必要な力を身に付ける上で有効であることを紹介しています。

具体的には、「腕立て伏せをする」というマスで体力向上、「かけ算九九を言う」というマスで基礎学力の確実な定着、「好きな〇〇を発表する」というマスで思考・判断・表現力の向上といった形です。

そして、低学年から高学年まで幅広く、かつ楽しく交流できるようマスの数や内容を考えてあります。誰もが気持ちよく遊

べるための「おやくそく」が重要だとも示しています。

ところで、「自立活動って何?」と思われた方も多いかもかもしれません。

自立活動とは、個々の障がいによる学習上又は生活上の困難を改善・克服するために、特別支援学校の教育課程に特別に設けられた指導領域です。本校においては「たんぽぽタイム」「のびのびタイム」などと称して時間割に週2時間位置づけられています。このように授業時間として2時間ある自立活動は、この時間を中心として他の各教科等とも密接に関連させながら進めていくことになっています。

具体的な内容としては六つの区分の下に27項目あるのですが、それらの中から以下に三つの区分に絞って紹介します。

心理的な安定、人間関係の形成、コミュニケーションです。

心理的な安定では、情緒の安定に関する事など。人間関係の形成では、集団への参加の基礎に関する事など。コミュニケーションでは、状況に応じたコミュニケーションに関する事などがあります。

これらの指導内容を自立活動の時間はもとより他の教科等でも行っています。

「すごろく」で気持ちよく遊ぶことは、上記の情緒の安定、人間関係の形成、コミュニケーションといった内容を十分に踏まえた学習活動になっています。

さらに、このような「すごろく」を通じた遊びは、通常の学級にいる児童にも有効であると考え、紹介したところです。

◇本校ホームページも随時更新しています。[伊倉小学校](#)で検索